

マダラ受精卵のポビドンヨード剤による消毒効果の検討

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 佐藤, 純, 堀田, 卓朗, 渡辺, 研一
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014597

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



マダラ受精卵のポビドンヨード剤による消毒効果の検討

佐藤 純・堀田卓朗・渡辺研一

マダラ受精卵のポビドンヨード剤による適切な消毒条件を検討した。桑実期の卵を、有効ヨウ素濃度 0, 25, 50 および 100 mg/ℓ の海水にそれぞれ 5, 10, 15 および 20 分間浸漬し、正常ふ化率と生菌数を調査した。25 mg/ℓ のヨード海水に 5 分間浸漬した場合、正常ふ化に及ぼす影響は少ないと考えられ、生菌数は、同じ条件で対照区より 94% 以上減少し、消毒効果が確認された。以上のことから、マダラ受精卵のポビドンヨード剤による消毒は、有効ヨウ素濃度 25mg/ℓ で 5 分間浸漬の条件で、効果的な消毒が可能と考えられた。

栽培技研, 35(2), 5-9, 2008